

# 令和3年度 自己評価報告書

令和4年5月

学校法人山陽女学園 広島歯科技術専門学校

評価対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 目 次

1. 学校の教育理念、教育目標	2		
2. 評価項目別達成取り組み状況			
基準1 教育理念・目的・育成人材像	3	基準8 財務	11
基準2 学校運営	4	基準9 法令等の遵守	12
基準3 教育活動	5、6	基準10 社会貢献・地域貢献	13
基準4 学修成果	7		
基準5 学生支援	8	3. 評価項目別の評価結果	14
基準6 教育環境	9	4. 令和3年度 重点目標達成についての総合的な評価結果	15, 16, 17, 18
基準7 学生の受入れ募集	10	5. 令和4年度 重点目標と達成計画	19, 20

### ※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応しておらず不適切、学校の方針から見直す必要がある。

## 1. 学校の教育理念、教育目標

本校は、『未来に輝く人材を育成する』という理念を教育目標に掲げる学校法人山陽女学園を母体とし、昭和47年に広島県で最初の歯科技工士養成学校として創立された。

### 〈教育理念〉

教育基本法、学校教育法および歯科技工士法の定めるところに従い、歯科技工に関する知識と技能を身につけ、歯科医師、歯科衛生士とともに歯科医療に貢献できる人材を育成する。

### 〈教育目標〉

1. 歯科医療従事者としての意識、心構えなどに関わる知識を習得する。
2. 歯科技工の基礎知識と技術を身につける。
3. 実学を重視した実習指導を推進し、即戦力となる人材を育成する。
4. 地域の社会福祉に貢献できる人材を育成する。

## 2. 評価項目別達成取り組み状況

### 基準1 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	*学則に定めている。
2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	*学則、学校案内において特色を明確にしている。
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	*令和2年から教育課程編成委員会における提言を参考にして、教育方法や評価方法を再検討し、企業と連携して実践的な歯科技工士教育の充実を図っている。 *3年制教育も視野に入れた将来構想が必要である。
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生や保護者等に周知されているか	3	*入学時に「学生便覧」を配布、説明をして周知をしているが、将来構想については、不十分と思われるので改善する。 *本校の玄関先に掲示して学生、保護者、来訪者等の目に触れるようにしている。 *10月に開催の保護者懇談会でも周知の予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は中止した。令和4年度は開催予定である。
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3	*今後の社会のニーズに即応して適宜改定していく。
【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>*広島歯科技術専門学校学則</li> <li>*学校案内</li> <li>*広島歯科技術専門学校ホームページ <a href="http://www.sanyo.ac.jp/shika/">http://www.sanyo.ac.jp/shika/</a></li> <li>*令和3年度 学生便覧</li> </ul>		

基準2 学校運営

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	学校法人山陽女学園の寄付行為のもと、運営方針が策定されている。
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定をしている。
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	4	学校法人山陽女学園全体の重要事項については、理事会・評議員会において意思決定を行っている。
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	整備されている。就業規則、諸規定はファイルされ、教職員が閲覧可能となっている。
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	学校法人山陽女学園の運営組織（理事会・評議員会）によって整備されている。
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	学校法人山陽女学園及び本校の諸規定のもと、法令順守に努めている。
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学校のホームページにおいて情報公開している。
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	<p>*情報のシステム化は不十分であるが、業務の効率化を図るための見直しは、適時行っている。</p> <p>*教務・事務室にWi-Fi ルーターを導入する。</p> <p>*クラウドサービスの利用を検討する。</p>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<p>*山陽女学園「広島歯科技術専門学校」2019～2023年の中期計画                  *山陽女学園 令和3年度事業報告書、令和4年度事業計画書                  *山陽女学園の寄付行為                  *広島歯科技術専門学校学則など諸規定                  *学校運営組織図                  *広島歯科技術専門学校ホームページ <a href="http://www.sanyo.ac.jp/shika/">http://www.sanyo.ac.jp/shika/</a></p>		

### 基準3 教育活動

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	*教育課程編成委員会を開催して、教育課程の編成を見直している。また、学内においても専任教員により見直している。
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	*学生個人の能力の低下により、全体的なレベルの低下がみられる。 *学則及び学生便覧に明記し、学生・保護者に周知している。
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	*教育目標に沿って、実習体系を「基礎」「応用」「企業連携」と編成している。
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	*業界のニーズに合った実習教育を目標に、より実践的（臨床的）な模型を使用している実習方法を工夫している。
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	*新型コロナウイルス感染症の影響で何社か取り止めているが、収束すれば再開する。 *教育課程編成委員会を開催し、委員より提言を頂いた授業内容等の見直しをしている。
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	*企業（歯科技工所3社）と連携した実習授業を実施している。 *11月に計画していた広島大学病院（歯科領域）の見学実習は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、令和4年度も計画予定である。 *歯科技工所でのインターンシップについては、7～8月に2社（3営業所）に分かれて全員が受けた。 *歯科技工所見学については、希望者数名の参加があった。
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	*専任教員及び非常勤講師の担当科目とも実施し、見直しを行っている。 *実習授業に対しては、職員会議等で見直しを行っている。
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	*学校関係者評価委員会を年3回開催して、外部評価を受けている。 *外部評価について、卒業生（卒後1年）の就業先の歯科医院や技工所へのアンケート調査を実施している。

9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	*履修規程の見直し、実技試験の採点基準を整備中である。 *学則に定めるとともに学生便覧、シラバスに明記し、学生・保護者に周知している。
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	*国家試験合格を目標に、十数回の模擬試験の実施と成績を開示し、個別指導体制もとっている。
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	*CAD/CAM等、ニーズが増えている分野で教えられる人材がいない。伝える力や知識が乏しいので、教員が研修できる環境を作る。 *1,2年生とも、前期試験の受験資格取得に全員を到達させることができなかった。 *大学、高校、専門学校等から実務経験のある教員を確保している。
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか	3	*当日にスケジュールを知ることもあり、事前に内容を打ち合わせることが望ましい。 *実務経験のある教員を確保している。
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3	*関連団体が開催する研修会に参加している。 *特別授業（審美歯科等）を教員も受講して、指導力の育成、向上に努めている。
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	*全国歯科技工士教育協議会開催の「新任教員講習会」に、昨年採用した専任教員1名が受講した。 *CAD/CAMの操作等について、学内での研修を8月に歯科技工所に勤務する歯科技工士を講師に開催した。 *実習現場が手薄になる等の事由で参加が減少傾向にある。
【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1			
特記事項 参考資料	*教員の学会、講演、その他の活動状況 *令和4年3月25日付けで、文部科学大臣から「職業実践専門課程」の認定を受けた。		

基準4 学修成果

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	就職率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*全国的に求人数、求人数が多い。</li> <li>*進路面談を開催し、学生カルテを作成し学生の状況を把握している。</li> <li>*学内合同会社説明会の開催を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、指定した4社2校に対して、ビデオによる会社説明を行い、対面での説明会は中止とした。</li> <li>*学生に求人先との日程調整を任せる等の不備があった。今後は学生と就職担当教官及び事務局との連携を図り、“ハウレンソウ”の徹底に努める。</li> </ul>
2	資格取得率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*年間3回の歯科技工士国家試験の全国模擬試験（学説）を受験した。</li> <li>*2月に入り学内模試（学説、実技）を行っている。</li> <li>*家庭学習（国家試験問題の宿題）の取組みを、1年の後期から行っている。</li> </ul>
3	退学率の低減が図られているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*定員割れが常態化しており、入学希望者はほぼ全員が入学できる状態である。</li> <li>*学業不振者が多く、実習を見る教員を増員したが、それでも退学者が多数出た。</li> <li>*学業不振、心に病を持つ学生に対し相談にのり、保護者とも連絡をとりながら退学者の減少に学校全体で取り組む努力をしている。また、学園内の短期大学のカウンセラーに相談もして、アドバイスを受けている。</li> <li>*教員に相談もなく、退学を決断した学生がいたことから、学生に向き合うように努めている。</li> <li>*単位制の利用が効果的にできていない。</li> </ul>
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新卒者の動向調査アンケートを、10～11月に実施した。（職業訓練給付性制度）</li> <li>*卒後1年生の就業状況調査アンケートを、就業先に対して1～2月に実施した。（教育課程編成委員会）</li> </ul>
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>*同窓会、歯科技工士会、歯科医師会等との連携を深め、研修会等の実施を引き続き進める。</li> </ul>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	特になし		



基準5 学生支援

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	*ハローワークより職業紹介業務の認可を受け、進路指導担当者を置き体制はできている。 *就職担当教員同士及び事務局間での連携が少しずつ良くなっている。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	*学年担任制をとっており、学生の相談には親身に取り組んでいる。 *学内にはカウンセラーをおいてない。
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	*学納金の減免措置等はないが、2期に分納して一度の負担を軽減している。 *奨学金の給付型は減免対象となるので、「確認大学」の申請を目指す。
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	*学校医（医師、歯科医師）を置き、毎年、胸部X線撮影、内科検診、歯科検診を行っている。 *保健室は無い。簡易ベッドはあるが図書室と兼用である。
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	*支援体制は文書化されていない。 *「学生災害傷害保険」に加入している。 *救命講習、新入生歓迎会、遠足、レクリエーション等を計画実施している。
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	*専任教員が積極的に支援している。 *学園内の短期大学のカウンセラーに相談している。
7	保護者と適切に連携しているか	4	*無断欠席の場合は、保護者と学生に連絡を取り、状況の把握と相談に努めている。 *新型コロナウイルス感染症の影響で、10月の保護者懇談会は中止となったが、個人面談を開催し、学校での現状等を伝えている。
8	卒業生への支援体制はあるか	3	*卒業生に対する就職相談等を行う体制はできている。
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	*「(一般)教育訓練給付制度」の認可を受けている。
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行なわれているか	3	*高校との連携による取組みは行われていない。 *「学校関係者評価委員会」及び「教育課程編成委員会」を開催している。 *企業と連携した授業を実施している。
【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1			
特記事項 参考資料	*学生管理台帳		

基準6 教育環境

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	<p>*教育機器については学生数に対して十分対応でき、故障等に対して授業に支障の無いように即時対応している。しかし、実習室のプロジェクター、スクリーンは老朽化等で十分でない。</p> <p>*講義室、実習室にインターネット（LANケーブル）環境を整備し、CAD教育及びリモート授業に対応できるようにした。</p> <p>*CAD/CAMに関する設備が不十分である。</p> <p>*男女トイレを洋式トイレ（ウォシュレット）に改装した。</p>
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2	<p>*企業（歯科技工所3社）と連携した実習授業を計画、実施している。</p> <p>*歯科技工所でのインターンシップについては、8月に2社（3営業所）に分かれて全員が受講した。</p>
3	防災に対する体制は整備されているか	4	<p>*学内において防災訓練（避難訓練、119番通報訓練、消火訓練、消火栓の使用方法、地震対策）を実施し、災害時には対応できるように備えている。</p> <p>*消防・防火設備の保守点検を業者に依頼し、8月、10月、2月に実施した。</p> <p>*毎年1年生を対象に受けていた救命講習は中止となった。</p>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<p>*防災（防火）訓練計画書 *防火管理維持台帳</p>		

基準7 学生の受入れ募集

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	<p>* I Tによる活動や社会人へのPR等が不十分である。</p> <p>*年間スケジュールを計画し、個別のポスター掲示、進学雑誌への掲載、ホームページの作製等が充実している。</p> <p>*高校訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響で5月を中止した。8月に実施したが、高校の反応等は良くなかった。</p> <p>*本校のホームページ(TOP ページ)の見直し(スマートフォン対応)のため、学生にアンケートを実施して検討する。</p>
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	<p>*本校のホームページ、高校訪問、学校案内等で伝えている。</p> <p>*高校訪問は、年間の訪問回数及び訪問校数の削減、遠方への訪問の取止める等の見直しを行った。</p> <p>* I Tを活用した募集活動が不十分なので、引き続き対応を検討する。</p>
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	<p>*現在の物価状況等から、施設、専門機器及び設備の整備、人件費等の経費を考えると妥当である。</p> <p>*近県の同じ技工士専門学校と比較しても同程度である。</p>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<p>*学校案内 *学生募集要項</p>		

基準8 財務

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	*経費削減に取り組み、毎年黒字化を実現し中長期的に財務基盤の安定化を目指している。 *入学者の充足率が約6割と低迷している。定員確保の為に学生募集に力を入れる必要がある。
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	4	*学校法人会計基準に則り、適正に行われている。 *予算計画は法人本部と調整し、評議員会、理事会にて承認され、概ね妥当と思われる。
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	*山陽女学園の公認会計士による外部監査（年間約10回）、及び監事による財務監査が実施され、指摘事項があった場合には適切に是正措置を講じている。
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	*財務情報をホームページで公開している。
【評定】 適切…4    ほぼ適切…3    やや不適切…2    不適切…1			
特記事項 参考資料	*財務諸表    (①事業活動収支計算書、②貸借対照表、③財産目録、④監査報告、⑤事業計画)		

基準9 法令等の遵守

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	*教育基本法、学校教育法、歯科技工士学校指定規則、専修学校設置基準および歯科技工士法等の定めを遵守し運営している。
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	*学校法人山陽女学園の個人情報適正管理規定に則り、適正に対応している。 *学生、保護者、非常勤講師等から個人情報を取得する場合には、使用目的を明確に伝え、使用後はシュレッダーにかけて破棄している。
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	*自己点検・評価を実施し、課題及び改善等を図っている。
4	自己評価結果を公開しているか	4	*自己評価の結果を6月からホームページにおいて情報公開している。
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 歯科技工士養成所指定規則</li> <li>* 専修学校設置基準</li> <li>* 歯科技工士法</li> <li>* 山陽女学園の寄附行為</li> <li>* 山陽女学園の個人情報適正管理規定</li> <li>* 授業料納入規定</li> <li>* 毒物劇物危害防止規定</li> </ul>		

基準10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	* 廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」の行事は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。感染症が収束し開催が可能になれば参加する。
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2	* 例年、廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」や山陽女学園中等部・高等部主催の文化祭等に参加していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で種々の行事が中止となった。感染症が収束し開催が可能になれば参加する。
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の委託等を積極的に実施しているか	2	*（一般）教育訓練給付制度の認定校として、社会人の受け入れ環境を整備している。 * 新型コロナウイルス感染症の影響で種々の行事が中止となり、開催できなかった。
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	* 本校教職員の社会活動の状況		

### 3. 評価項目別の評価結果

- 基準1 教育理念・目的・育成人材像について、ほぼ適切に実施している。
- 基準2 学校運営について、適切に実施している。
- 基準3 教育活動について、ほぼ適切に実施している。
- 基準4 学修成果については、ほぼ適切に実施している。
- 基準5 学生支援については、ほぼ適切に実施している。
- 基準6 教育環境については、ほぼ適切に整備している。
- 基準7 学生の受入れ募集については、ほぼ適切に実施している。
- 基準8 財務については、適切に実施している。
- 基準9 法令等の遵守については、適切に実施している。
- 基準10 社会貢献・地域貢献については、やや不適切である。

#### 4. 令和3年度 重点目標達成についての総合的な評価結果

令和4年3月現在

##### 1. 教育活動について

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	1) 病院見学実習	* 広島大学病院の見学実習	* 新型コロナウイルス感染症の影響で病院側の判断で中止となった。 * 令和4年度以降、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば実施する。	×
	2) 歯科技工所見学、インターンシップ	* 歯科技工所見学2社 (全員参加) * インターンシップ (全員参加)	* 歯科技工所見学については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止にした。 * 和田精密歯研(株)、(株)愛歯の2社からのインターンシップ参加の依頼があり、7～8月に学生全員が2社(3営業所)に分かれて参加した。 * 令和4年度以降、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、歯科技工所見学を再開する。	○
	3) 特別授業Ⅰ	① 顎顔面補綴 ② 審美歯科 ③ 歯肉材料 (セラマージュ) ④ サイレンサー	* 顎顔面補綴の授業については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止にした。令和4年度以降、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば再開する。 * 審美歯科については、外部講師により対面での授業を実施した。 * 歯肉材料 (セラマージュ) やサイレンサーの講義、実習については中止にした。	△
	4) 特別授業Ⅱ	① 租税教室 ② 労働局	* 新型コロナウイルス感染症の影響で中止にした。	×
	5) その他 ① 企業と連携した職業教育	* 企業との連携授業 (3社)	* 企業3社に講師の派遣を依頼し、連携授業を実施している。 ① (株)愛歯 9月24日(金) 「全部床義歯 (人工歯排列～歯肉形成)」 ② 和田精密歯研(株)広島営業所 10月29日(金) 「クラウン Wax up」 ③ (株)オーラル・イノベーション 2月24日(木) 「CAD/CAM」	○
	② 歯科技工士国家試験 (対策)	① 全国模擬試験 (学説) の受験 * 医歯薬出版主催 1回 * 全国歯科技工士学校協会主催2回 * 学内模試 2回 ② 個別指導 ③ 国家試験結果 (2月25日発表)	* 第1回: 9月6日(月)に実施した。(全国歯科技工士学校協会) * 第2回: 11月30日(火)に実施した。(医歯薬出版(株)) * 第3回: 1月6日(木)に実施した。(全国歯科技工士学校協会) * 学内模試: ①2月9日(水)、②2月16日(水)に国試を想定して実施した。 * その他、学内での学説、実技模擬試験を複数回実施した。 * 引き続き実施する。 * 受験者15人全員が合格した。 全国合格率94.8% (合格者数827人/受験者数872人)	○
2	就職活動	* 就職アンケート	* 4月に実施した。	○



		*就職面談	*6月に実施した。	
		*学内就職ガイダンス	*4月、5月に実施した。	
		*進路状況	*卒業生15人中、就職希望者14人の全員が就職が決まった。	
3	その他 *新型コロナウイルスの影響による学校の対策	*今年度は、休校することなく対面授業を行った。	*学内では感染者が出ていないが引き続き感染予防に努める。 *2年生は病院見学実習のため、全員がワクチンを接種済みである。(5月11日と6月1日に2回接種している) *1年生は、個別に受けており接種率は2月末の調査結果83%である。 *教職員は全員が2回以上を接種済みである。	○

## 2. 入学生の確保

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	広報活動	*ホームページの充実(情報発信) *近隣地域へのポスター掲示依頼(コンビニ等) *学校ガイダンス(業者) *新聞広告(西広島タイムス) *SNSの活用 フェイスブック、インスタグラム	*例年実施している。 *ポスター掲示(コンビニ等)を5月に依頼した。 *10月14日(木)上下高校で開催された学校ガイダンスに参加した。 *西広島タイムスは刊行されていないので、広告をしなかった。 *実施している。	○
2	高校訪問	*5月、8月の訪問 (広島県96校、山口県18校) *1月の訪問	*新型コロナウイルス感染症の影響で、5月の訪問は中止にした。 *8月の訪問については、緊急事態宣言の発出の前後でもあり、進路の教官に面会できない高校があった。 *新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、令和4年度以降に再開する。 *新型コロナウイルス変異株(オミクロン)のまん延により中止にした。	△
3	歯科関係団体との連携	・広島県歯科医師会	*オープンキャンパスの案内ポスターの掲示を県内開業医に依頼した。(7月)	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県歯科技工士会</li> <li>・広島歯科技工所経営者協議会</li> <li>・全国歯科技工士教育協議会</li> <li>・全国歯科技工士学校協会</li> <li>・本校同窓会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*11月12日(金)に開催された、(一社)広島県歯科技工士会主催の第24回学生カービングコンテストに参加し、銅賞を受賞した。</li> <li>*オープンキャンパスの案内ポスターの掲示を取引先の歯科医院に依頼した。(5月)</li> <li>*総会が5月15日(土)にリモートで開催された。</li> <li>*中国ブロック会議が、10月30日(土)にリモートで開催された。</li> <li>*社員総会が5月25日(火)にリモートで開催された。</li> <li>*理事会が7月27日(木)にリモートで開催された。</li> <li>*新谷英章校長が副理事長に就任した。</li> <li>*引き続き連携を継続する。</li> </ul>	○
4	オープン キャンパス	*年間7回、細心の注意を払い計画通り開催した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、検温、消毒、机の間隔をとり、参加者が14名と多かった第2回は、申込者と付添者の会場を分けて開催した。</li> <li>*今年度の参加者数は44名であった。</li> </ul>	○
5	社会人(既卒者)の受け入れ	* (一般)教育訓練給付金制度認可(令和5年3月31日まで)	* (専門)教育訓練給付金制度の取得を目指して学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を開催している。	○

### 3. 中途退学者の減少

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	学習意欲(モチベーション)の向上	*保護者(保証人)と頻繁に連絡を取っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>*個人面談を開催する。</li> <li>*引き続き保護者(保証人)と頻繁に連絡を取る。</li> </ul>	○
2	学業不振者への対応	*放課後の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>*引き続き取り組む。</li> <li>*試験不合格者に対して、個別指導を行うとともに、頻繁に家庭連絡を行っている。</li> </ul>	○
3	心に病を抱えた学生への対応	*保護者(保証人)との連携	*引き続き取り組む。	△

## 4. その他

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	学校関係者評価委員会の開催	*年3回の開催	*第1回：令和3年6月17日(木)に開催した。 *第2回：令和3年11月18日(木)に開催した。 *第3回：令和4年3月24(木)に開催した。	○
2	教育課程編成委員会の開催	*年2回の開催	*第1回：令和3年7月29日(木)に開催した。 *第2回：令和4年2月17日(木)に開催した。	○
3	保護者懇談会の開催	*毎年10月に開催	*令和3年10月23日(土)の1・2年合同の懇談会は中止にしたが、個別懇談を実施した。 *令和4年度以降は、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば再開する。	△
4	その他、実習授業等	*実習デモンストレーション	*過密を避けて、ビデオカメラを活用しスクリーンに投影する形式で行っている。今後も、新型コロナウイルス感染症が収束するまで継続する。 *手元が見えやすい等のメリットがある。 *プロジェクター、スクリーンの整備(新規購入)が必要である。	○
		*インターネット環境の整備	*4F ポーセレン室、5F 講義室にLAN ケーブルを設置して、CAD/CAM 授業及びリモート授業に備えている。	
		*「職業実践専門課程」を取得	*令和4年3月25日付けで、文部科学大臣の認定を受けた。	

## 5. 令和4年度 重点目標と達成計画

### (1) 教育活動

- 1) 歯科技工所見学2社 (現場見学型、現場体験型) 夏季休暇中に全員参加
- 2) 特別授業Ⅰ
  - ・顎顔面補綴・・・愛知医科大学病院 (歯科技工士) 森下裕司先生
  - ・審美歯科・・・学会からの派遣講師
  - ・「サイレンサー」・・・(株)スマートプラクティス代表 松田信介先生
  - ・「セラマージュ」・・・(株)松風 沖本祐真先生
- 3) 特別授業Ⅱ
  - ・その他
- 4) 就職面談及び学内就職ガイダンス (就職担当教官)
- 5) 教員の各種研修会への参加
- 6) CAD/CAM 教育の充実
  - ・CAD システムの新たな整備

### (2) 入学生の確保

- 1) 広報活動の充実
  - ①新聞広告
  - ②ホームページからの情報発信・・・スマートフォン対応
  - ③業者による会場形式の進学ガイダンス
  - ④近隣地域へのポスター掲示依頼
  - ⑤SNSの活用
- 2) 高校訪問の実施
  - ①専任教員が年間3回 (5月、8月、1月頃) の訪問  
対象は、広島県 (累計 225 校)、山口県 (累計 85 校)、島根県 (累計 18 校)  
※訪問回数、訪問高校数、訪問地域の削減を前提に見直す。
- 3) 歯科関係団体との連携
  - \* (一社) 広島県歯科医師会
  - \* (一社) 広島市歯科医師会
  - \* (一社) 広島県歯科技工士会、
  - \* 広島歯科技工経営者協議会
  - \* 全国歯科技工士教育協議会
  - \* (一社) 全国歯科技工士学校協会
  - \* 本校同窓会
  - \* 広島大学歯学部
  - \* 廿日市市
- 4) 社会人の受け入れ
  - \* (専門) 職業訓練給付制度の申請

(3) 業務の見直し

教職員による見直し検討会の開催

(4) 中途退学者の減少

1) 学習意欲の向上を計る。

① 実習課題の見直し

② 放課後の指導

2) 学業不良者への対応 (放課後の指導)

3) 心に病を抱えた学生への対応

4) 保護者との連携

(5) その他

1) 国家試験対策

① 国家試験問題集 (学説) の宿題の実施 (1年生の10月から)

② 全国模擬試験の参加 (全国歯科技工士学校協会主催2回、医歯薬出版主催1回)

③ 学内模試 (学説、実技) の実施

④ 個別指導

2) 自己点検、自己評価について

① ホームページへの情報公開

② 学校関係者評価委員会の開催と報告書の公開

③ 教育課程編成委員会の開催と公開

3) 保護者懇談会の開催・・・10月